

# 広島市歯科医師会だより

一般社団法人広島市歯科医師会

第 112 号

(H28.8.12)

## 今月のトピックス

広島東洋カープ観戦の集い	1 ページ
行事報告	
第 49 回十四大市歯科医師会役員連絡協議会専務理事会議	2 ページ
平成 28 年度広島市要保護児童対策地域協議会代表者会議	2 ページ
平成 28 年度第 1 回広島市食育推進会議	3 ページ
広島市江波地区包括支援センター主催「川辺のつどい」(サロン)	3 ページ
第 58 回広島市学校保健大会	4 ページ
広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭	5 ページ
支部だより	
中区支部	5 ページ
東区支部	6 ページ
各部からの報告	
保険・医療対策部	7 ページ
広報部	7 ページ
FM ちゅーピー	12 ページ
会員ひろば	
新入会員紹介	13 ページ
職員挨拶	14 ページ
7 月定例理事会報告	14 ページ

## 広島東洋カープ観戦の集い

先月の「広島市歯科医師会だより第 111 号」でも告知いたしました  
「広島東洋カープ観戦の集い」につきまして  
この度、申込みを開始いたします。  
観戦を希望される先生は、同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、  
FAX にてご返信ください。  
多数の皆さんのご応募をお待ちしています。

記

日 時	9 月 1 日 (木) 午後 6 時試合開始
場 所	MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島 (南区南蟹屋 2-3-1) 3 塁側 ラグジュアリーフロア
試 合	広島東洋カープ VS 横浜 DeNA ベイスターズ
参加資格	会員とご家族 及び 従業員
参加会費	1 人 5,000 円 (入場券 + フードプラン)
定 員	50 名 (各医療機関で会員を含み、4 名まで)
締 切	8 月 18 日 (木) 厳守 (申込期間が短いため、お早めに！)

申込方法 同封の申込書に必要事項をご記入の上、事務局宛てに、FAXにてお申し込みください。(FAX 245-8317)

#### 追記

- 1) 応募者多数の場合は、抽選といたします。(人数調整をお願いすることもあります) その場合は、入場券発送をもって当選のご連絡とさせていただきます。
- 2) 前日及び当日のキャンセルは、参加会費全額負担となります。
- 3) 3歳以上は、1名様としてカウントします。
- 4) 参加会費は、県歯会費等引き落とし口座より自動引き落としさせていただきます。
- 5) 会員の同伴がなければお断りする可能性がありますので予めご了承ください。

## 行事報告

### 第49回十四大市歯科医師会役員連絡協議会専務理事会議

日時：7月9日(土)午後3時

場所：宮城県歯科医師会館4階「会議室」

札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、川崎市、横浜市、新潟市、名古屋市、神戸市、岡山市、北九州市、福岡市、熊本市と本市を含めた14の政令指定都市の専務理事が出席し、10月22日(土)開催の本会議に向けた標記会議が開催された。

本年度のメインテーマは、『東日本大震災「2011年3月11日(金)」から5年を経過して』として、大規模災害時の各都市の対応等についての協議と昨秋決定していたが、図らずもこの度の熊本地震災害があり、的を得たテーマとなった。

幹事都市の仙台市より、メインテーマの趣旨説明、会議運営及びスケジュール、アンケートに基づくパネルディスカッション等について説明があった。

パネルディスカッションに関しては、この度の地震災害の熊本市、一昨年の中越地震の広島市、5年前の東日本大震災の仙台市、12

年前の新潟県中越地震の新潟市の4都市の会長がパネラーを務めることが確認された。

続いて、熊本市より義援金のお礼と、熊本地震の報告があった。

その他の意見・情報交換においては、マイナンバー、入会金や会費、終身会員の会費や年齢条件等の処遇、役員・委員の報酬等々について協議した。改めて、各都市が抱える諸問題の共通性を認識し、大変有意義な会であった。



会議の様子

### 平成28年度広島市要保護児童対策地域協議会代表者会議

日時：7月21日(木)午後2時

場所：広島市役所本庁舎14階「第3会議室」

標記会議は要保護児童の早期発見と適切な保護・支援を図るための環境整備等について検討するものである。会議は冒頭で広島弁護士会所属の定者吉人氏が会長に選出され、その司会のもとで進行した。

最初に広島市の現況について、要保護児童数は808名(5月1日現在)に達すること、平

成27年度の児童相談所への相談・通告件数は過去最多の1,197件にのぼったこと(図参照)、上記はいずれも乳幼児～小学生がその多くを占めていることなどの報告があった。

それに続く関係機関の取組状況の報告においては、出席した有馬隆理事(学校保健担当)が広島県歯科衛生連絡協議会における「一時

保護施設入所児支援歯科保健活動」や「要支援児童の早期発見に係る調査研究事業」、学校検診におけるデンタルネグレクトへの対応などの取り組みについて紹介した。

我々医療関係者は、「児童虐待を発見しやすい立場であることを自覚して、虐待の発見に努めること」が求められている（児童虐待の防止等に関する法律）。しかしながら実際には個人情報保護、「虐待」と「しつけ」の峻別が難しいこと、通告後の人間関係などから逡巡する場合も多い。これに対しては、発見者は「躊躇することなく速やかに福祉事務所、または児童相談所に通告する」ことが義務付けられており（同法律）、「通告した者には虐待の立証責任はなく、守秘義務違反に問われる

こともない」（同法律）ということは今一度思い起こし、地域の一員としての「義務」を積極的に果たしていく必要がある。



児童相談所への相談・通告件数の推移

## 平成 28 年度第 1 回広島市食育推進会議

日時：7月29日(金)午後1時30分

場所：広島市役所本庁舎14階「第7会議室」

会議の冒頭で挨拶した松井一寛広島市長は、より幅広い年代に取り組みを拡げることによって健康寿命の延伸を実現するために、同会議の所管をこれまでの教育委員会から健康福祉局に移管したことを説明した。続いて、市役所担当者が本年4月から実施されている第3次広島市食育推進計画、および、平成28年度食育の推進について説明を行った。その後の意見交換では、出席者が同会議事務局への要望、所属団体の取組状況の報告などの発言を行った。出席した有馬隆理事（学校保健担当）は、「食育に関する意識調査」の改善を要望するとともに、4月に開催された学校歯科医協議会で「食べ方に問題がある子ども」についての研修会を開催し、教育・保育関係者への公開講座としたこと、保育園での嚙ミング

30 授業、学校保健大会での講話など、本会の食育への取り組みについて説明した。

今回の移管により、広島市の食育推進計画は今後、「元気じゃけんひろしま21」と一体となって推進されることになった。口腔の健康を通じたヘルスプロモーションの観点から、本会は積極的な取り組みを継続していくことにしている。



広島市食育推進会議ロゴ

## 広島市江波地区包括支援センター主催「川辺のつどい」（サロン）

日時：8月2日(火)午後1時30分

場所：「ファミリー江波公園リバーサイド集会所」

広島市江波地区包括支援センターからの依頼を受け、ファミリー江波公園リバーサイド集会所「川辺のつどい」（サロン）において小松昭紀氏（市歯会顧問、NPO日本食育インストラクター・食育実践プランナー）が「認知症の予防と食生活—認知症が嫌なら油を選ぼう—」と題する講演を行った。周辺地区の住民約20名ほど（全員女性）の参加があったが、

本年4月頃より自主的に住民主体の介護予防に関する活動を始めたということで、大変感心したところである。

わが国では急速な高齢化が進み、それに正比例するがごとくに認知症患者も急増している。認知症は症状が急速に進行するので、一次予防が重要な対策となる。

講演の主旨は、近年ブームとなっているエゴマ油等（オメガ3系脂肪酸）の摂取は脳の健康にも大変良い働きをしており、とくにDHAは摂取されたほぼ全てが脳内に摂り込まれ脳の活性化に貢献していること、反面、市販されている安価なサラダ油や、マーガリン、ショートニングなどの危険性についても触れ、脳と体の健康に良い油とそれらの油を選ぶ注意点などにも言及した。

さらに、認知症予防対策としての生活習慣上の注意点としては、①毎日脳と体を動かすこと（適度な有酸素運動、良質な睡眠、好奇心、チャレンジ心、多くの人との会話など）、②肉よりは魚の摂取、③抗酸化作用の強い食材を摂ること、④サラダ油をやめ、オメガ3系油を積極的に摂ること、⑤インスタント食品、ファーストフード、スナック菓子は避ける、⑥加工食品購入時には成分表に植物油等の記載のあるものは避けることなど。

また、歯科医師としての立場から、口腔機能を司る脳の領域はかなりの広さを占め、嚙

むことによる脳の活性化が認められており、口腔の健康が脳の健康維持に直結することから、1回の食事には30分以上かけ、食べる順番と、一口30回を目標にゆっくりよく噛んで食べることの意義と効果を述べた。

最後に、脳もトレーニングにより活性化し、脳のネットワークが壊れた領域をカバーし、いくつになっても海馬の体積は増えるので、決してあきらめることなくよりよき生活習慣の構築に努めていくことを求めて講演を終えた。

出席いただいた皆様には非常に熱心に聴講していただき、“目からうろこの事もたくさんあり、間違った食生活を猛反省した”との声も頂け、地域でのこのような「つどい」に参加すること、自主的に勉強すること自体、認知症予防につながることであり、大変有意義に感じ、地区住民と地区包括支援センターの取り組みに敬意を表したい。



講演をする小松昭紀顧問（左）と講演会の様子（右）

## 第58回広島市学校保健大会

日時：8月4日(木)午後2時30分  
場所：「安佐南区民文化センター」

「生涯にわたって健康で安全に生き抜く子どもの育成」をテーマに、標記大会が広島市学校保健会、広島市教育委員会の主催、広島市PTA協議会の後援で開催された。

大会では松村誠広島市学校保健会会長の挨拶の後に表彰式が行われた。本会関係では、山崎健次氏が広島市学校保健功労者表彰を、浅川敏文氏・小田正秀氏・今井正人氏が永年勤務の学校歯科医に対する感謝状を受けた。また、よい歯の学校表彰、よい歯の健康大賞の表彰も、それぞれの代表に対して行われた。

表彰式に続いて分科会が開催され、歯科の分科会である「よい歯の集い」は、能美和基理事の司会のもとに進行された。川原正照会長の挨拶に続いて、有馬隆理事が「お口の健康を通じて『目指そう！人生の金メダル』」と題する講話を行った。その後、よい歯の児童表彰が行われ、各学校代表の児童一人ずつに、川原会長が賞状を手渡した。

最後に熊谷宏副会長が閉会の辞を述べ、全ての日程を終了した。

本年度の、本会関係の表彰校ならびに児童表彰は以下の通り。

### よい歯の学校表彰

優良校：古田台小学校、山田小学校

努力校：荒神町小学校、鈴が峰小学校、井口明神小学校、井口小学校、庚午小学校

### 児童表彰

よい歯の健康大賞 4,325名

よい歯の賞 2,926名



左から川原正照会長、小田正秀氏、浅川敏文氏、山崎健次氏、今井正人氏、熊谷宏副会長

## 広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭

日時：8月6日(土)午前8時

場所：県歯会館「原爆慰霊碑前」

71回目の広島原爆の日を迎えた。昭和42年に原爆慰霊碑が建立され、「広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭」は今年度で50回目を迎えた。この度も例年同様、原爆慰霊碑前に祭壇を設けて、山本智之専務理事の司会のもと、しめやかに慰霊祭が執り行われた。

本会、中区支部会員である、日蓮宗長遠寺院首 長崎昭憲導師と、住職 長崎龍深副導師による読経のもと、川原正照会長、山崎健次

県歯副会長、ご遺族代表の植木和弘氏による献花の後、約50名の参列者により焼香が行われた。原爆投下時刻の午前8時15分に本会関係者51名の死没者に対し、黙禱を捧げ、冥福を祈った。

最後に熊谷宏副会長より「来年度は新しい会館へ慰霊碑が移設されるので、この場所で執り行われる慰霊祭は最後である。」との閉会の挨拶があった。



原爆死没者慰霊祭の様子（左）と焼香をする川原正照会長（右）

## 支部だより

### 中区支部

#### 第6回 吉島地区多職種連携会議

日時：7月16日(土)午後3時

場所：広島市吉島福祉センター2階「多目的ホール」

今回の会議のテーマは「口腔ケア」であり、中区圏域では初めて歯科医師が企画から携わった。そのため、多くの歯科医師、歯科衛生士が出席した。また、広島県栄養士会から初めて管理栄養士も参加された。

伊藤欣朗広島市中区医師会理事による開会の挨拶の後、田丸卓弥吉島地区多職種連携会議委員長から趣旨説明があった。

先ず、事例検討がグループワークの形式で行われた。それぞれのグループに分かれての議論の後、発表を行った。

次に、講習会では、歯科医師の指導のもと参加者がグミキャンディーの咀嚼体験（食塊がどのように形成され、舌がどのように動くかを実感してもらう）や、テーピングを用いた開口障害体験、そして、頭部をいろいろと動かしたり、前歯部を開けたままにしたりしてペットボトルのお茶を飲む誤嚥体験、とろみ剤を溶かしたお茶を飲む体験など様々なものであった。参加者の多くがとろみ剤を安易に使用しない事を実感した。

さらに、藤田友昭市歯会地域歯科保健部委員が『「食べる」ための口腔ケア』として、多職種に理解しやすく、明日からの医療介護現場ですぐに役立つ内容の講演の後、高橋浩一

吉島地区多職種連携会議副委員長が閉会挨拶を行い、会議は終了した。

なお、この会議には、市歯会中区支部より波田佳範支部長、荒谷恭史氏、有田一喜氏、石嶋誠司氏、加藤千季氏、辰本将哉氏、橋本佳子氏、平野隆司氏、前田羊一氏と波田歯科医院スタッフとして小尻幸枝歯科衛生士が出務した。



会議に出務された先生方

### 中区支部懇親会

日時：7月23日(土)午後7時

場所：オリエンタルホテル広島3階「レインボールーム」

宇品の花火大会やカープの黒田投手の日米通算200勝のかかった登板などの色々なイベントが重なり、参加者が少ないのではないかとこの中区支部執行部の心配をよそに、多くの支部会員の参加があった。

山崎保彦理事の司会進行の下、6月にご逝去された故小島敏嗣氏、7月にご逝去された故河村潤一氏への黙祷の後、波田佳範支部長の支部長挨拶、川原正照市歯会会長による来賓挨拶が行われた。続いて、初代中区支部長であった今田義孝氏の音頭により乾杯が行われ、支部会員懇親の宴が始まった。

宴会の途中には、新入会員の伊藤剛志氏、小島将督氏の紹介と挨拶も行われた。終盤に行われた、恒例のビンゴ大会は、全員に景品があるということもあり、大変な盛り上がりであった。最後は、三次みさと副支部長の挨拶をもって盛会のうち閉会した。



挨拶をする波田佳範支部長

## 東区支部

### 第11回東区女性会まつり、医療相談コーナーへ出務

日時：6月26日(日)午前10時

場所：「東区総合福祉センター」

標記会へ東区支部から山本道直支部長、能美和基氏・前島真紀子氏が出務した。来場された54名に対し歯科医療相談、口臭測定を行った。また支部長は開会式の際、来賓としての挨拶と共に市歯会東区支部の活動について説明を行った。



出務した東区支部会員

(左から) 能美和基氏・前島真紀子氏、山本道直支部長

# 各部からの報告

## 保険・医療対策部

### 源泉所得税 休業手当等の課税関係

\*\*\*\*\*

給与所得者が労働基準法に規定されている各種の手当の支給を受けた場合の課税関係は、次のとおりです。

1. 労働基準法第26条の規定に基づく「休業手当」  
使用者の責に帰すべき事由により休業した場合に支給される「休業手当」は、給与所得となります。
2. 労働基準法第76条の規定に基づく「休業補償」など  
労働者が業務上の負傷等により休業した場合に支給される「休業補償」など、労働基準法第8章（災害補償）の規定により受ける療養のための給付等は、非課税所得です。また、就業規則等に基づき、労働基準法が定める割合を超えて支給される付加給付金も、労働基準法上の給付では補てんされない部分に対応する民法上の損害賠償に相当するものであり、心身に加えられた損害について支払を受ける慰謝料として非課税所得となります。

\*\*\*\*\*

## 広報部

### 今月の知っておきたいこと

リンク切れはご容赦を。  
記事の確認は自己責任にてリンク先でお願いします。  
最新記事はホームページにてご覧ください。

### ▼がん5年生存率60%超す 治りやすいがん増える／国立がんセンター

国立がん研究センターは21日、がんの治癒の目安である5年生存率の全国推計値を公表した。2006～08年の診断症例をもとにした5年生存率は62.1%で、03～05年のデータから算出した3年前の前回調査より3.5ポイント上昇した。同センターの松田智大・全国がん登録室長は「前立腺がんや乳がんなど治りやすいがんの患者が増えたことが生存率向上につながったと考えられる」と分析している。

5年生存率はがんと診断されてから5年間生きている人の割合。通常、がん以外による死亡の影響を除いた数値で表す。100%に近いほど治療で生命を救えるがん、0%に近いほど救うのが難しいがんを意味している。

同センターは、都道府県が実施する「地域がん登録」のデータをもとに全国の推計値をまとめた。データの精度が高い21県で06～08年に診察した64万4407例をもとに計算した。

5年生存率は男性で59.1%、女性で66.0%だった。男性は前回調査より3.7ポイント、女性は同3.1ポイント向上した。

女性の方が生存率が高いのは「乳がんや子宮がんなど比較的治りやすいがんにかかる割合が多いため」（松田室長）。肺がんでも、男性に比べて女性は治りやすいタイプを発症する傾向があるという。

5年生存率をがんの部位別にみると、前立腺、甲状腺、皮膚、乳房が90%を上回った。一方、膵臓（すいぞう）は7.7%、胆のう・胆管（22.5%）、肺（31.9%）、肝および肝内胆管（32.6%）などが低かった。主要ながんでは結腸・直腸を合わせた大腸が71.1%、胃が64.6%だった。

どの部位も病気の進行度が高くなるにつれ、生存率は低下していた。多くの部位で、早期で診断された場合は生存率がよくなっていた。国立がん研究センターでは、検診で治りにくいがんが早期に見つかる割合が増えれば、生存率がさらに向上する可能性があるという。

日本経済新聞 2016年7月22日

[http://www.nikkei.com/article/DGXLASDG21H7X\\_R20C16A7CR8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXLASDG21H7X_R20C16A7CR8000/)

（参考）国立がん研究センター

日本のがん生存率の最新全国推計公表 全部位5年相対生存率62.1%（2006-2008年診断症例）

[http://www.ncc.go.jp/jp/information/press\\_release\\_20160722.html](http://www.ncc.go.jp/jp/information/press_release_20160722.html)

## ▼「歯科用磁性アタッチメント」の国際規格が発行されました ～日本発の国際標準を発行後、JIS制定へ～

永久磁石（マグネット）による義歯（入れ歯）の維持安定装置は、脱着が容易なことからQOL（生活の質）の向上に貢献する技術です。我が国の国際提案は、世界最高水準にある我が国の磁性アタッチメントの優位性を維持力測定などによって客観的に示そうとするものであります。今後はこれをJISとして制定し、国内への普及をはかります。

経済産業省 2016年7月21日

<http://www.meti.go.jp/press/2016/07/20160720004/20160720004.html>

発表資料

<http://www.meti.go.jp/press/2016/07/20160720004/20160720004.pdf>

## ▼堀日歯会長 歯科医療協議会研修会で講演 《新規技術期中導入の有効性を語る》

日本歯科医学会（住友雅人会長）主催による「日本歯科医学会 歯科医療協議会研修会」が6月26日、「新技術・新機能（区分C）と先進医療を推進する」をテーマに歯科医師会館で開催され、多数の歯科関係者が参加した。午前の講演では、厚生労働省保険局の小椋正之歯科医療管理官（技術等の保険収載）、日本歯科医師会の堀憲郎会長（歯科界活性化への新展開）、日本歯科材料工業協同組合の園田秀一氏（ファイバーポスの臨床応用から保険収載に至る流れ）が講演した。午後は、「歯科における先進医療の現状と課題」（赤川安正広島大学名誉教授）、「有床義歯咀嚼機能検査法の開発から保険収載まで」（志賀博日本歯科大学生命歯学部教授）の2題の講演が行われた。堀会長は▽C区分を活用した戦略、▽臨床検査の保険収載、▽新病名の検討、▽期中導入の効果検証等についての考えを述べるとともに、まとめとして「国の政策に対し歯科は常に後手に廻っており、早期に歯科から提言していくことが必要と考えており、先ず研究機構等を中心に情報の収集、分析をしっかり行っていきたい。今後、日本歯科医学会、産業界、さらに行政を交えて歯科活性化会議を立ち上げて検討を進めていくが、産業界の活性化なくして歯科界に活性化はないと思っている。また、政権与党と歩調を合わせるのには政策立案の段階から提言をするために必要なことと考えている。現在28項目の課題解決に向けて取り組んでいるが、歯科活性化会議については殆どの所管が横断的に関わっている。こうした体制で一丸となって取り組んでいく所存である」とした。

デンタルタイムズ21 Online 7月15日号

<http://dentaltimes21.jp/info/7%e6%9c%885%e6%97%a5%e5%8f%b7%e3%80%80%e2%96%a0%e5%a0%80%e6%97%a5%e6%ad%af%e4%bc%9a%e9%95%b7%e3%80%80%e6%ad%af%e7%a7%91%e5%8c%bb%e7%99%82%e5%8d%94%e8%ad%b0%e4%bc%9a%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e3%81%a7/>

### ニュースピックアップ

## ▼高齢化 65 歳以上、4 人に 1 人超 社会保障に影響、国勢調査速報

総務省が29日発表した2015年国勢調査の「1%抽出速報」によると、総人口に占める65歳以上の割合（高齢化率）は、1920年の調査開始以来最高の26.7%となり、初めて高齢者が4人に1人を超えた。前回の10年調査から3.7ポイント上昇した。15歳未満は0.5ポイント下がり、12.7%で最低を更新。少子高齢化が一段と進み、社会保障の財源確保や地域の維持に大きく影響しそうだ。

働いている女性の割合（就業率）は、ほとんどの年代で10年調査からやや上昇したものの、子育て世代は落ち込む「M字カーブ」は依然として残ったままだ。

高齢化率は世界で最も高い水準。

47NEWS 2016年6月29日

<http://this.kiji.is/120789036671387133?c=39546741839462401>

### Point of View

◎わが国の高齢化もかなり進んできており、初めて高齢者が4人に1人を超えたようです。15歳未満も割合が減り、少子高齢化がさらに進んできております。現在の社会保障を今後も維持することはかなり難しくなってくるでしょう。この先、日本はどのような方向に進んでいくのでしょうか。医療制度も大きく変わる可能性が考えられます。

## ▼運営混乱の専門医機構、新理事長に吉村氏「一定の方向性を出したい」

来春にスタート予定の新しい専門医制度の運営を巡る問題で、日本専門医機構は4日、地域医療振興協会顧問の吉村博邦氏を新たな理事長に選んだ。

吉村氏は、日本医師会などが、大病院に医師が集中して地域医療の現場が混乱するなどとし、制度開始の延期を求めた点について、「患者代表や県知事も加えた新たな理事会で、今月中に一定の方向性を出したい」と述べた。

吉村氏は呼吸器外科が専門で、北里大学医学部長などを歴任。同問題では、運営が混乱し、前理事長が先月27日に辞任していた。

yomiDr (2016年7月5日)

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160705-0YTET50005/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160705-0YTET50005/?catname=news-kaisetsu_news)

### Point of View

◎どうして「見切り発車」的なことをしようとするのでしょうか。「まず実現ありき」と計画を重視することが第一のように思われているようで仕方ありません。十分に練り上げたうえでの実施を期待したいものです。いつかは統一しないといけないのかもしれませんが、時間をかけてゆっくり準備する必要がありそうです。

### 関連記事

新しい専門医制度「混乱ないよう検討」…厚労相

yomiDr (2016年6月14日)

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160614-0YTET50024/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160614-0YTET50024/?catname=news-kaisetsu_news)

## ▼歯が少ない高齢者、引きこもり危険性が2倍に…東北大調査

歯の数が少ない高齢者は、歯が20本以上ある高齢者に比べ、週1回も外出しない閉じこもりになる危険性が2倍程度高いとの調査結果を、東北大の相田潤・准教授（歯科公衆衛生学）らが発表した。

2006年に65歳以上の愛知県の高齢者に、歯の本数と外出回数などをアンケート調査。06年時点で閉じこもりでない4390人を4年間追跡し、歯が19本以下で入れ歯を使う人と、19本以下で入れ歯を使わない人、20本以上ある人の三つのグループで、閉じこもりになった人の割合を算出した。その結果、20本以上で4年後に閉じこもりになったのは4.4%で、19本以下で入れ歯を使う人は8.8%。入れ歯を使わない人は9.7%と閉じこもりの割合がより高かった。

所得などを考慮し調整すると、入れ歯を使わない65～74歳の高齢者が閉じこもりになる危険性は20本以上の人の1.8倍だった。相田准教授は「歯が少ない人は、入れ歯をつけて外出する生活を心がけてほしい」と話している。

yomiDr (2016年6月29日)

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160629-0YTET50010/?catname=news-kaisetsu\\_news\\_senior-news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160629-0YTET50010/?catname=news-kaisetsu_news_senior-news)

### Point of View

◎歯がないと消極的になり人生が暗くなってしまいます。自分の歯を維持して、長生きできるように指導し、失われたら楽な入れ歯を入れてあげられる・・・これこそ歯科医師のみができる大切な仕事ではないでしょうか。

## ▼歯が悪い児童の半数、受診せず 貧困背景、大阪・公立小で調査

大阪府の公立小の歯科検診で約2万4900人の児童が「受診が必要」とされたのに、半数以上がその後受診していなかったことが約190校への調査で分かったと、大阪府歯科保険医協会が23日明らかにした。

虫歯が十数本あったり歯がぼろぼろになったりしている「口腔崩壊」の児童は89校で確認された。同協会は「背景には貧困や生活習慣、ネグレクト（育児放棄）など、家庭の問題がうかがえる。まずは行政による医療費助成の拡充が必要だ」と指摘している。

昨年2月、府内の全公立小約千校にアンケートし、192校から回答があった。

47NEWS 2016年6月23日

<http://this.kiji.is/118622248250425352?c=39546741839462401>

### Point of View

◎大阪では、歯科検診で、歯科受診が必要とされた児童の半数以上が、その後、歯科を受診していなかったそうです。原因は貧困や、育児放棄など、家庭の問題が考えられるようです。カリエスは治ることはありません。国民の口腔内の健康のためには小さいころからの管理が大切です。貧困が原因であれば行政による医療費助成が重要です。

## ▼酒気帯び運転で医師逮捕…患者が危篤と連絡受け、病院に向かう途中で

長崎県警対馬南署は9日、長崎県対馬病院の医師の男（59）（対馬市厳原町）を道交法違反（酒気帯び運転）の疑いで現行犯逮捕した。

発表によると、男は同日午前2時10分頃、対馬市厳原町の国道382号で、酒気を帯びて軽乗用車を運転した疑い。検問で停止しなかったため、パトカーで追走。飲酒検知をしたところ、基準値を超えるアルコール分が検出された。

同病院を運営する一部事務組合・県病院企業団によると、男は受け持ちの患者が危篤になったとの連絡を受け、約10キロ離れた宿舎から車で病院に向かっていた。対馬で放射線治療ができる唯一の医師といい、県庁で記者会見した同企業団の白川誠・総務部長は「離島で放射線治療ができなくなると、患者の負担が大きくなる」と険しい表情で語った。

yomiDr（2016年7月11日）

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160711-0YTET50011/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160711-0YTET50011/?catname=news-kaisetsu_news)

### Point of View

◎「自分の診ている患者さんが危篤状態となった」医師は我を忘れてハンドルを握っていたのかもしれませんが。社会的には許されないことではしょうが、医師としての責務を果たそうとした気持も理解できないことはありません。私たちも診療中は我を忘れないよう気を付ける必要があります。

## ▼カンボジアで無償手術15年…口腔外科医・岩田さん、子ども3000件施術

口やその周囲に疾患を持つカンボジアの子どもたちに、堺市在住の口腔外科医・岩田雅裕さん（56）が無償で手術を続けている。

15年前に始め、これまで約3000件に上る手術を手がけてきた。現地の大学で後進の育成にも力を注いでおり、今春、第1期生が巣立った。他のアジア各国からも支援要請があり、近くブータンでも治療を始める予定だ。

岩田さんは、岡山大歯学部卒業。広島市立広島市民病院の歯科口腔外科部長だった2001年、知人に誘われ、カンボジア・シエムレアプの小児病院を訪れた。生まれつき唇の一部などが裂けている「口唇口蓋裂」や、口の周りに腫瘍があるのに放置されている多くの子どもを目の当たりにした。

早く手術すれば治る病気だが、カンボジアでは貧困や知識不足から手術を受けられない子どもが多いうえ、長く続いた内戦で医師や歯科医が少なく、中でも口腔外科医はほとんどいなかった。

現地の病院関係者から「手術を手伝ってほしい」と頼まれ、年に3、4回、1週間ずつ休暇を取って自費で通い始めた。食事も取らずに5、6件の手術をこなした日もあった。

09年に出会った当時7歳の少女ソクさんは、鼻から顎にかけて6センチ大の細菌性の腫瘍ができ、骨がゆがんで口がうまく開かず、表情を失っていた。父は地雷で両腕を失い家庭は貧しかった。現地の医師らと行った6時間に及ぶ手術で顔はすっかりきれいになり、元気に成長するソクさんの姿が岩田さんの支えだ。

「必要とされる場所で多くの手術がしたい」との思いが強まり、13年9月に勤務先の病院を退職し、フリーに。ラオスやスリランカからも支援要請があり、現在はほぼ毎月、各地に出向いてメスを握るほか、新たにブータン政府からの要請も受け、支援内容の協議を進めている。

カンボジアの口腔外科医を育てるため、首都プノンペンの大学で講義も始め、今春、岩田さんに学んだ初の専門医が卒業した。岩田さんは「国民皆保険制度がある日本では想像できないが、病院に来て『お金がない』と治療を受けずに帰る人がいる。カンボジアの医療が形になるまで活動を続けたい」と語る。

yomiDr（2016年6月28日）

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160628-0YTET50018/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160628-0YTET50018/?catname=news-kaisetsu_news)

### Point of View

◎こういう「現代の赤ひげ先生」と呼べる歯科医師がいるかと思えば、大阪では警官と組んで不正請求をする歯科医師がいる。世の中どうなっているのでしょうか。

## ▼遺伝子組み換え菌漏出の報告遅れで厚労省が行政指導 「人体、環境に影響なし」

厚生労働省は17日、医薬品製造用の遺伝子組み換え酵母菌を含んだ廃液を管理区域外に漏出させたにもかかわらず報告が遅れたとして、医薬品製造業「バイファ」（北海道千歳市）を厳重注意した。菌はその後の排水処理工程で死滅したとみられることなどから、厚労省は「人体や環境への影響はない」としている。同社は

遺伝子組み換え酵母菌を使ってやけどや肝硬変の治療に使われる人血清アルブミン製剤「メドウェイ」＝販売停止中＝を製造。厚労省によると、少なくとも平成23年10月から4年4カ月間、菌を含んだ廃液を十分に滅菌せず工場内の管理区域外に漏出させていた。

25年8月、区域外の敷地から遺伝子組み換え酵母菌が検出されたことが分かったが、省令に定められた「排出量を最小限にとどめる措置」がとれていると判断し、厚労省に報告しなかった。その後、漏出を減らすため行程を見直すなどしたが改善できず、今年2月に厚労省に報告した。同社は田辺三菱製薬の子会社で、22、25年にはメドウェイの治験データを改竄したなどとして2度にわたり業務停止命令を受けた。バイファは「近隣住民はじめ多くの方に迷惑と心配をかける事態を招いたことを深くおわびする。再発防止策を徹底し、信頼回復に努める」とコメントした。

産経ニュース 2016年6月17日

<http://www.sankei.com/life/news/160617/lif1606170026-n1.html>

#### Point of View

◎遺伝子組み換えにより、現実には存在しないはずの物が生み出されることとなります。今回の件で、菌を含んだ廃液を十分に滅菌せず工場内の管理区域外に漏出させていたことが分かっており、直接この菌自体が、人体や環境への害を及ぼさないとされていても、悪影響を及ぼすような変異が起きないとは限りません。十分な注意が必要と考えます。

## ▼カフェインは睡眠不足だと効き目が長続きしない可能性 (2016.6.27 配信)

何日か睡眠不足が続いた後では、カフェインにより覚醒や精神能力を改善する効果が得られなくなることが、米ウォルター・リード陸軍研究所（メリーランド州シルバースプリング）の Tracy Jill Doty 氏らの研究でわかった。研究では、健康なボランティア 48 人を対象に、5 日間、睡眠を一晩 5 時間に制限した。被験者は 1 日 2 回、カフェイン 200mg または作用しないプラセボのいずれかを摂取した（なお、平均的なコーヒー 1 杯のカフェイン含有量は 95mg）。さらに、起きている間は 1 時間ごとに知的技能テストを実施した。その結果、最初の 2 日間はカフェイン摂取群がプラセボ群よりも試験成績が良かったが、残りの 3 日間では差が認められなくなった。Doty 氏は、「カフェインは睡眠が足りないときの能力低下に抗うために広く使用されているため、この結果は重大だといえる。今回のデータは、同じように有効 1 日用量のカフェインを摂取しても、複数日の睡眠制限による能力低下を予防するには不十分であることを示唆している。1 日 2 回、200mg のカフェイン摂取による能力上昇が 3 日間の睡眠制限後に失われたことは、特に意外だった」と述べている。

米国疾病管理予防センター（CDC）によると、成人は一晩に 7～8 時間眠るべきだという。今回の研究結果は、米デンバーで開催された睡眠専門家協会（APSS）集会で発表された。（HealthDay News 2016 年 6 月 16 日）

ヘルスデー ジャパン 2016 年 6 月 27 日

<http://healthdayjapan.com/2016/06/27/12633/>

#### Point of View

◎カフェインの効果についての記事ですが、カフェインを摂取しても、長期にわたる睡眠不足のケースだと、効き目が長続きしない可能性が示唆されたとのこと。ケースによっては、3 日続けて睡眠不足であれば、カフェインの効果なくなる事もあると結論づけられていることから、やはりきちんとした睡眠をとることが大事ということでしょうか。不眠で問題なく過ごすというのは、やはり難しいということですね。

## ▼暑い日の安全な過ごし方(2016.6.30 配信)

救急医療の専門家が、熱波のもたらす危険について警告し、気温が上昇した日でも涼しい状態を保つ方法を助言している。米ウィンスロップ大学病院（ニューヨーク州ミネオラ）救急医療部の Barry Rosenthal 氏は、「高齢者や乳幼児、慢性疾患のある人は特に影響を受けやすいが、若く健康な人であっても、適切な対処をしなければ熱中症で倒れる可能性はある」と述べ、暑い時期のリスクを軽減する方法を説明している。最良の対策は、エアコンの効いた建物の中にあることだ。家にエアコンがなければ、図書館やショッピングモールなどのエアコンの効いた公共施設に行く。

また、ゆったりとした軽く明るい色の洋服を着て、帽子をかぶるか日傘を使い、露出している肌には日焼け止めを使う。脱水しないように水を十分に飲むことも重要だ。ただし、アルコール、カフェイン、甘い飲料は避ける。利用している薬が熱中症リスクを高めないか、医師または薬剤師に尋ねる。たとえば、利尿薬はリスクをもたらす可能性がある。該当する薬を利用している場合は、リスク軽減のために気をつけることがあるかを確認する。屋外での激しい活動や運動は、できるだけ早朝や夕方気温が低い時間帯に行く。特に暑いときは、ローカルニュースや天気予報に注意して健康と安全性に関する情報を確認する。また、高齢の家族や隣人など、熱中症リスクが高い人の様子に注意する。Rosenthal 氏は、「めまいや吐き気、頭痛など、熱中症の最初の徴候があれば涼しい場所に移動し、数分間休んでから冷たい飲料をゆっくりと飲む。状態が改善しなければすぐに受診すべき」と話している。（HealthDay News 2016 年 6 月 23 日）

*Point of View*

◎今年の夏も暑くなりそうということで、熱中症対策は必須です。記事にも記載のとおり、水分をきちんととり、なるべく涼しい所で過ごすことが大事ですが、服用している薬がある場合には、熱中症への影響が認められる症例もあるため、注意が必要です。自分の熱中症へのリスクを踏まえたうえで、適切な行動をしていかなければいけませんね。

## ▼日立と住商が尿解析だけでがん識別の技術開発 乳がんや大腸がん対象、数年後に実用化へ

日立製作所と住友商事、住商ファーマインターナショナルは14日、尿の老廃物を解析し、乳がんや大腸がんの患者と健康な人とを識別する技術の開発に成功したと発表した。この技術が確立すれば、尿の採取だけで乳がんや大腸がんを早期に発見できる。数年後の実用化を目指す。日立などの研究グループは、乳がんや大腸がんの患者、健康な人の各15人の尿から1300以上の老廃物を検出した。そこから、がん患者と特定できる10種類の成分を突き止めた。さらに、その成分量の違いからがん患者と健康者を識別することに成功した。

今後、研究グループは乳がん患者200人、健康な人200人の尿を使った臨床試験も計画しており、検査の精度を高める。乳がんや大腸がん以外の識別についても研究を進める。がんの早期発見は血液検査など腫瘍マーカーを使った検査が主流となっているが、医療機関を受診する必要がある。今後、自宅で採った尿を医療機関などに送るだけで診断できれば、医療格差がある地方のがんの早期発見にも貢献できる。日立の坂入実技術顧問は「実用化の段階では簡単に検査が受けられる仕組みを作りたい」としている。

産経ニュース 2016年6月14日

<http://www.sankei.com/life/news/160614/lif1606140010-n1.html>

*Point of View*

◎検診に行かなくてはいけないと思っても、なかなか足が向かないものですが、自宅で簡易的に検査が行えるようであれば、検査を行う人は多くなるのではないのでしょうか。今回のがんを識別できるシステムでは、今までのような採血の必要性がなく、尿検査で簡易的かつ高精度で判定ができるようです。実用化が待ち遠しいですね。

## ▼14年度のメタボ受診率は48% 目標7割に依然届かず

厚生労働省は11日、40～74歳を対象とした特定健康診査（メタボ健診）の2014年度の受診率は、前年度から1ポイント増え48.6%だったと発表した。政府は生活習慣病の予防に向けて受診率70%の目標を掲げるが、実績は毎年微増にとどまっており、14年度も目標を達成できなかった。

メタボ健診の対象者は約5385万人で、このうち受診したのは約2616万人。公務員らが加入する共済組合で74.2%、大企業の会社員ら向けの健康保険組合では72.5%と目標の70%を超えたが、市町村が運営し自営業者らが入る国民健康保険は35.3%と低かった。

47NEWS 2016年7月11日

<http://this.kiji.is/125189322000515074?c=39546741839462401>

*Point of View*

◎メタボリックシンドロームの健診の受診率は、48%で目標の70%にはいまだかなり開きがあるようです。公務員や大企業の会社員は70%以上の受診率だったが、国民健康保険は35%とほぼ半数という状態です。国保の自営業と比べ、公務員や大企業は、福利厚生が充実しているのがこの差につながったのではないかと思います。より平等な社会保障制度の実現を願っております。

## FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」

FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート  
お口の健康ひろば デンタルパーク 毎週月曜日午前8時40分から



**7月26日収録 8月1日放送分 TRF「EZ DO DANCE」**

広島市歯科医師会 橋岡優氏 「デンタルパーク Q&A」

「歯科検診」や「歯ぐき」に関する疑問などリスナーの質問に回答します。広島市歯科医師会の橋岡優が話します。歯に関する悩みや質問はメール dental@chupea.fm、ファックス082(297)7660へ。

**7月26日収録 8月8日放送分 スガシカオ「Progress」**

広島市歯科医師会 山崎和広氏 「よく噛むためには」

高齢者にとっても食事は何よりも楽しみです。調理の工夫や食べ方、食材の選び方などにより、唾液がたくさん出て、脳血流が改善していきます。

**7月26日収録、8月15日放送分 Derek and the Dominos「いとしのレイラ」**

広島市歯科医師会 有田一喜氏 「噛むカムレシピ」

噛み応えのある食事は健康であるための第一歩！今日から使える！噛み応えのある食事レシピをマスターしてあなたのお口も健康に！

**7月26日収録、8月22日放送分 GONTITI「放課後の音楽室」**

広島市歯科医師会 花木清隆氏 「噛ミング30運動」

ひと口30回以上かむと体に良いことがたくさんあります。「噛ミング30運動」で健康を維持しましょう。広島市歯科医師会オフィシャルサイトが開設されました。

**7月26日収録、8月29日放送分 Bruno Mars「Count On Me」**

広島市歯科医師会 清水賢氏 「喫煙と歯周病」

成人の歯を失う原因の第一位である歯周病。その歯周病と喫煙の関連性をご存じでしょうか？たばこを吸うことが歯周病治療に与える危険性についてお話しします。

## 会員ひろば

### 新入会員紹介



小島 将督

はじめまして、小島将督と申します。こじま矯正歯科の小島敏嗣は私の父でありまして、6月の逝去の際には大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

私は広島で生まれ、広陵高校、奥羽大学を卒業後、広島大学病院、安佐市民病院で研修し、広島大学歯科矯正科でお世話になっておりました。

改めまして入会の際お力添えしていただきました先生方、歯科医師会の方々に感謝申し上げます。微力ではございますが地域歯科医療のためにがんばってまいりたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。



峯岡 茜

この度、広島市歯科医師会に入会させて頂きました峯岡茜と申します。

私は広島大学歯学部卒業後、研修医を終了し、広島大学病院歯科保存診療科（歯髓生物学研究室：旧一保存）に9年間在籍しておりました。大学病院では多くの先生方に大変お世話になりながら臨床・教育・研究に携わっておりました。そしてご縁があり、平成28年8月に中区大手町にて「ハート歯科クリニック」を開院させて頂くことになりました。

入会に際しましては多くの先生方にご指導ご助言を頂き誠にありがとうございました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

未熟者の私ですが、これから地域医療に貢献できるよう努めていく所存でございます。歯科医師会の先生方には色々ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、微力ながら最善を尽くし努力してまいりますので今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 職員挨拶

### 退任挨拶



山口 弘美子

この度一身上の都合により、一般社団法人広島市歯科医師会を退職する事となりました。本当に短い間でしたが、休日診療受付と市歯会事務の仕事を楽しませていただきました。

特に休日診療の受付では歯科医療というものを間近で拝見する事ができ、本当に貴重な経験をさせていただいたと思っております。

また多くの先生方や同僚に、お世話になりました事を御礼申し上げます。

最後になりましたが、広島市歯科医師会の益々のご発展をお祈り申し上げて、挨拶に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

### 新任挨拶



馬場 あけみ

7月17日に市歯会事務局へ入局いたしました、馬場あけみと申します。

まだ何もわからずご迷惑をおかけするかもしれませんが、早く皆様のお役に立てるように、頑張りますので、どうぞご指導の程よろしくお願い致します。

## 7月定例理事会報告

### 「部外報告」

- 6月23-27日 社保診療報酬審査(合議27日)
- 6月28日 広島県歯科衛生連絡協議会理事会
- 〃 新会館プロット図打合わせ
- 7月 1日 社保再審査
- 7月 1日 県立広島病院医局会ビアパーティー
- 7月 8日 第2回四者協議会
- 7月 9日 中国デンタルショー開会式
- 〃 十四大市歯科医師会役員連絡協議会専務理事会議(仙台)
- 〃 全国歯科大学同窓会広島県支部長会併設文月会
- 7月15日 学校保健会第2回理事会
- 7月20日 広島市歯科医療福祉対策協議会会計監査
- 7月21日 広島市要保護児童対策地域協議会代表者会議
- 7月23日 国保組合会・互助会総代会

- 7月23-27日 社保診療報酬審査(合議27日)
- 7月27日 山崎病院情報提供説明会

### (連盟関係)

- 6月23日 あぜもと将吾出陣式
- 6月25日 日本歯科医師連盟会長講演会
- 7月 4日 山田宏個人演説会
- 7月10日 第24回参議院議員選挙投開票

### 「総務関係」

- 6月25日 臨時理事会
- 〃 第109回定時総会
- 6月27日 長井先生他TV収録懇談
- 6月29日 職員採用面接
- 7月 9日 B型肝炎ワクチン接種(第1回目)
- 7月19日 現有資料PDF化確認検討
- 7月23日 中区支部懇親会
- 7月25日 三役会

7月27日 定例理事会

(慶弔関係)

6月24日 中区支部 小島敏嗣先生ご逝去  
7月 9日 中区支部 河村潤一先生ご逝去

(入会退会関係)

6月24日 中区支部 小島将督先生入会  
6月27日 中区支部 峯岡茜先生入会  
7月19日 入会前面談 (岡田浩幸先生)

(1) 総務部 (本山理事)

6月25日 臨時理事会  
" 第109回定時総会  
7月 1日 警察歯科委員会  
7月 4日 山田宏個人演説会  
7月 8日 委員会  
7月 9日 B型肝炎ワクチン接種  
7月11日 宮園警察庁官房付との打合わせ  
7月19日 警察歯科小委員会  
" 入会前面談 (岡田浩幸先生)  
7月21日 県警捜査一課との打合わせ  
" 広島市危機管理室との打合わせ  
7月23日 中区支部懇親会  
7月27日 県警本部長挨拶

(2) 学術部 (蜂須賀理事)

6月25日 臨時理事会  
" 第109回定時総会  
6月28日 戸坂圏域地域包括支援センター  
打合わせ  
7月 4日 あなたが救う救急救命広島総会  
7月 4日 山田宏個人演説会  
7月 8日 委員会  
7月14日 戸坂圏域地域包括支援センター  
打合わせ  
" 戸坂圏域医療と介護の連携会議予演  
7月21日 戸坂圏域医療と介護の連携会議予演

(3) 保険・医療対策部 (瓜生理事)

6月23日 (県)保険点数早見表編集委員会  
6月25日 第109回定時総会  
6月28日 休日診療レセプト点検  
7月 3日 (県)施設基準講習会  
7月 4日 山田宏個人演説会  
7月10日 参議院議員選挙  
7月14日 (県)常任委員会

7月19日 会議移転準備に伴う資料仕分け  
" 国保歯科再審査部会  
7月20-24日 国保歯科審査部会  
7月20日 定例委員会  
7月21日 国保歯科審査部会意見交換会  
7月23日 国保組合会・互助会総代会  
7月23日 (県)新入会員サポート事業

(4) 地域歯科保健部

6月25日 臨時理事会  
" 第109回定時総会  
7月 4日 山田宏個人演説会  
7月 8日 (県)地域保健部、学校歯科保健部、  
介護・福祉医療部、口腔保健  
センター部、広報部常任委員会  
(暑気払い)  
7月14日 戸坂圏域医療と介護の多職種連携  
会議に関する蜂須賀先生の予演  
6月21日 定例委員会  
<学校保健> (有馬理事)  
6月30日 (南区地対協)大州地域包括支援  
センター圏域(日常生活圏域)  
在宅医療・介護関係者研修会・  
連絡会  
7月 4日 (南区地対協)広島市南区地域保健  
対策協議会第1回常任理事会・  
理事会  
7月 8日 第2回四者協議会  
7月15日 学校保健会第2回理事会  
7月21日 広島市要保護児童対策地域  
協議会代表者会議  
<地域連携> (小松理事)  
6月24日 中区地域ネットワーク事例検討会  
6月28日 休日診療レセプト点検  
7月 3日 (県)「在宅療養支援歯科診療所」  
「歯科外来診療環境体制加算」  
「かかりつけ歯科医機能強化型  
歯科診療所」の施設基準に係る  
研修会  
7月 4日 第4回吉島多職種連携会議  
小委員会 (田丸整形外科)  
7月 5日 (県)後期高齢者歯科健診・歯科  
保健事業検討会議第1回小委員会  
7月14日 通所口腔ケア事業中区支部会員  
個別説明会  
7月16日 (県)平成28年度日本体育協会  
公認スポーツデンティスト

養成講習会(歯科医師会館)  
 7月17日 (県)平成28年度日本体育協会  
 公認スポーツデンティスト  
 養成講習会(歯科医師会館)  
 7月20日 (県)歯衛連 第1回後期高齢者  
 歯科健診・歯科保健事業検討会議  
 7月21日 (中区地対協)第19回介護保険・  
 在宅医療研修会  
 7月23日 中区支部懇親会  
**<地域保健> (能美理事)**  
 6月24日 (東区地対協)第1回在宅医療・  
 介護連携推進会議  
 " (東区地対協)第1回常任理事会・  
 理事会  
 6月26日 (東区)第11回東区女性会まつり  
 歯科相談  
 6月28日 東区第1合議体介護認定審査会  
 6月30日 牛田・早稲田包括支援センター  
 介護予防教室  
 " (県)平成28年度第2回地域保健部  
 事業打合せ会  
 6月31日 東区第1合議体介護認定審査会  
 7月 5日 (県)オタフクホールディングス  
 簡易唾液検査  
 " 東区第1合議体介護認定審査会  
 " (県)平成28年度広島県歯科衛生  
 連絡協議会第1回職域における  
 歯科保健推進会議  
 7月 7日 (県)平成28年度広島県禁煙支援  
 ネットワーク運営委員会  
 7月12日 東区第1合議体介護認定審査会  
 7月15日 広島市学校保健会 平成28年度  
 第2回理事会・表彰審査委員会  
 " (県)第3回歯科健康診断票更新  
 にかかる検討会議  
 7月19日 東区第1合議体介護認定審査会  
 7月21日 東区第1合議体介護認定審査会

**(5) 広報部 (橋岡理事)**

6月25日 臨時理事会  
 " 第109回定時総会  
 6月28日 FMちゅーピー収録  
 市歯会(香川次郎氏、藤田友昭氏、  
 濱岡代枝氏、豊田育星氏)  
 7月 1日 委員会  
 7月12日 委員会 (情報発信部門)  
 7月19日 委員会 (情報調査部門)

7月25日 FMちゅーピー(久保田様)と協議  
 7月26日 FMちゅーピー収録  
 市歯会(山崎和広氏、有田一喜氏、  
 清水賢氏、花木清隆氏、橋岡優氏)  
 FMちゅーピー(新聞掲載)  
 7月 4日 「8020運動を知っていますか？」  
 香川次郎氏(市歯会)  
 7月11日 「いつまでも自分の歯で食べるために」  
 藤田友昭氏(市歯会)  
 7月18日 「ママと赤ちゃんのお口の健康のために」  
 濱岡代枝氏(市歯会)  
 7月25日 「早寝・早起き・朝ご飯」  
 豊田育星氏(市歯会)

**(6) 広島市歯科医師会ホームページについて**

ホームページアクセス数  
 一般サイト 訪問者 947 (累計 23,736)  
 ページビュー 4,694 (累計 115,731)  
 会員サイト 訪問者 256 (累計 15,660)  
 ページビュー 957 (累計 165,710)  
 広報部 … Talking Heads<最新情報>  
 掲載件数 75件 (6/21~7/20)

**(7) 特別委員会**

**(8) 救急蘇生委員会**

**(9) 会館移転準備**

7月19日 現有資料PDF化確認検討  
 7月27日 各部進捗状況報告

**(10) 創立100周年記念事業について**

**(11) 各部事業計画について**

**(12) 歯科医療安全相談**

7月 8日 苦情 麻酔について  
 (70歳代女性)  
 7月15日 苦情 節目年齢歯科健診の結果と  
 その後の対応について  
 (30歳代男性)  
 7月20日 苦情 他院への紹介について  
 (50歳代男性)  
 7月21日 苦情 節目年齢歯科健診時の治療  
 及び治療費について  
 (50歳代男性)

### 「協議事項」

- (1) 会費について (1名)  
終身会員資格取得による会費額変更について承認
- (2) 入会について (2名)  
南区支部の小早川尚史先生の入会について承認、1名継続審議
- (3) 「わははのおはなし」増刷について  
販売方法等を検討・協議
- (4) 神崎小学校の学校歯科医選任について  
故小島敏嗣先生の後任に荒光泰生先生を推薦することを承認
- (5) 学校歯科検診について  
今後の検診について協議
- (6) 「FM ちゅーピー」リスナーからの質問  
リスナーからの質問について協議
- (7) 第49回十四大市歯科医歯会役員連絡協議会について  
協議会への参加内容について検討、協議
- (8) 広島市歯科医療福祉対策協議会役員会・総会協議事項について  
報告・協議事項を検討、協議
- (9) その他  
特になし

#### 会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事橋岡優までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: [hiroshima@dentalpark.net](mailto:hiroshima@dentalpark.net)

広報部担当理事 橋岡優 E-Mail: [s.d.c@helen.ocn.ne.jp](mailto:s.d.c@helen.ocn.ne.jp)